

## 校長メッセージ

今般の新型コロナウイルス感染拡大という危機的事態は、緊急事態宣言が出されたことから、埼玉県でもその深刻さがさらに強く認識されることとなり、改めて我々一人一人が責任ある行動を取ることが一層強く求められる事態となっています。

4月28日に開催された「埼玉県新型コロナウイルス対策本部会議」の結果を踏まえ、埼玉県教育委員会から臨時休業期間延長の指示を受けました。これにより、「のす高」での生活は5月31日まで始められないことになり、皆さんの不安を増幅させてしまっていることを大変申し訳なく思っています。

ただ、皆さんならおわかりのように、今回の事態はこれまでの前例が一切通用しない緊急事態です。自分自身はもとより、ご家族や周囲の人が感染しないためにとるべき行動、制限された中で自らの判断ででき得る学習活動、ストレスを軽減するための策、体力維持のためのトレーニング等について、個々が適切に判断し行動することが求められています。このような時に、どう自己をコントロールし立ち振る舞えるかに、「のす高生」の真価が問われています。ぜひ、皆さんには焦らず落ち着いて、個々にできる可能な範囲で、適切に考え、判断し、行動してもらえることを願っています。

3年生にとっては、進路実現に向けての準備や、部活動の総仕上げとなる大会準備など、意気込みも新たにスタートを切るはずの最終学年がこのような事態となり、不安と焦りが渦巻いているのではないかと思います。学校が再開されない現状で、皆さんの不安をすべて解消する術は私にもありません。ですが、これは全国すべての高校3年生に共通の事態です。皆さんが今考えるべきことは、この状態で何ができるのかを確認すること、そして学校が再開したらすぐに事が進められるよう、先を見越して今できる準備を日々計画的に進めることです。焦っても状況は改善しません。まずは落ち着いて冷静に、やるべき事を進めてください。

2年生は、「のす高生」の型を身につけ、いよいよその型を破って様々なことにチャレンジしようと意気込んでいたところでこの事態となり、持って行き場のないストレスを抱え込んでいるのではないのでしょうか。でも冷静に考えてみてください。皆さんにはこの一年で培った力があります。それを信じて、この自然が課した無理難題に挑戦する気持ちを持ってもらえればと思います。普段通りの生活ができない中で、何ができるのか「のす高生」としてチャレンジしてみてください。

新入生は、4月8日からすでに立派な「のす高」1年生です。「のす高」での生活をわくわくした気持ちで待ち望んでいたところ、この事態となり、残念に思っている人も多いのではないのでしょうか。今回、自然から無理難題を課される事態となりましたが、焦りや不安を感じる必要はありません。まずは、「のす高」からのサポートに従って、日々の生活を律することを自らに課してみてください。

5月31日までの臨時休業中、「のす高」は皆さんの日々の生活と学習を、G Suite等を利用してサポートしていきます。落ち着いて日々の学習に取り組んでください。

保護者の皆様には、今回の事態でお子さまの日々の生活や学習に不安を感じていらっしゃるかと拝察いたします。「のす高」は、この状況下でもでき得る限りのサポートをしてまいります。「のす高」を信じて、お子さまをご家庭で励ましていただけますようお願いいたします。

今回の事態は、「のす高」にとっても前例のない緊急事態です。「のす高生」である皆さんと我々「のす高」教職員が、気持ちを一つにしてこの無理難題を克服していきたいと思えます。

臨時休業が終了し、皆さんとともに「のす高」生活が始められる日を楽しみにしています。

令和2年4月30日

埼玉県立鴻巣高等学校長 永井 一博